

臨床試験参加者の管理ツールにより、医療機関の皆様をサポートします。

来院日管理表

参加者の、先々の予定や許容範囲計算、規定外Visit・負担軽減費の設定などが可能な管理表



主な特長

- PhambieLINQ IDENトップ画面に表示されるカレンダー機能を使い、医療機関全体でその日に来院されるすべての参加者を管理、共有できます。
- カレンダーは担当者や試験ステータス、診療科などで絞り込みも可能で、臨床試験に限らずさまざまな場面で便利にご利用いただけます。

Visitチェックシート

参加者が来院時に実施する検査の手順や注意事項などを、Visitごとに設定可能なチェックリスト



主な特長

- 医療機関内で統一したチェックリストの作成が可能で、印刷して利用したり、医療機関全体で共有できます。
- 投与前や診察時など業務手順に合わせた入れ替えや、プロトコルの注意点を確認しながらVisit対応が可能です。
- CRCの経験に左右されず質を担保でき、担当CRC不在時も適切な対応が可能です。

医療と製薬の現場をつなぐ、データ連携プラットフォーム

PhambieLINQ

PhambieLINQは、現在多くの人手がかかっている臨床試験のプロセスに対してデジタル技術を活用し、シームレスなデータ連携を実現 (eSource連携) することで、新薬開発のイノベーション創出を支援するソリューションです。



Interactive Data Entry Navigation

PhambieLINQの2つのソリューション



Interactive Data Entry Navigation (通称 IDEN) は主に医療機関でお使いいただくシステムで、どの電子カルテからも統一した形式でデータを出力します。EDCへの転記作業が大幅に削減し、転記ミスの発生を減少させ、データの正確性と信頼性を向上させます。また、参加者の来院やVisitを管理する治験実施サポート機能も具備しています。



Clinical Data Transfer (通称 CDT) は主に製薬企業でお使いいただくシステムで、治験依頼者ごとに指定された形式に変換しEDCへデータを連携します。

本件に関するお問い合わせ

株式会社NTTデータ

<https://www.nttdata.com/jp/ja/industries/healthcare/phambielinq-sales@am.nttdata.co.jp>

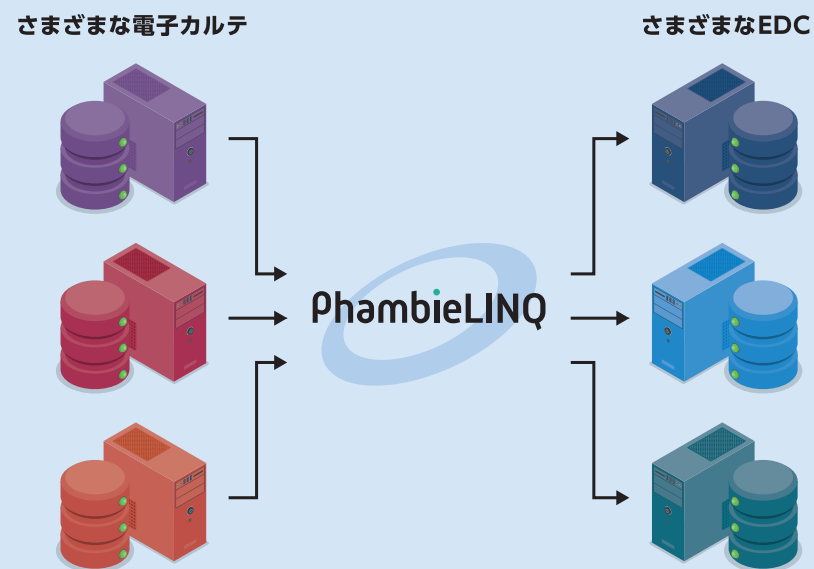
●記載内容は2025年3月現在のものです。
●表記のサービス内容は予告なく変更することがありますので、お申し込み時にご確認ください。
●記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。



電子カルテからEDCへのデータの連携により、医療機関ではEDCへの転記作業が大幅に削減し、転記ミスの発生を減少させ、データの正確性と信頼性を向上させます。
依頼者側ではSDVの省力化が見込まれ、モニタリングコストの削減、臨床試験の業務効率化を実現します。

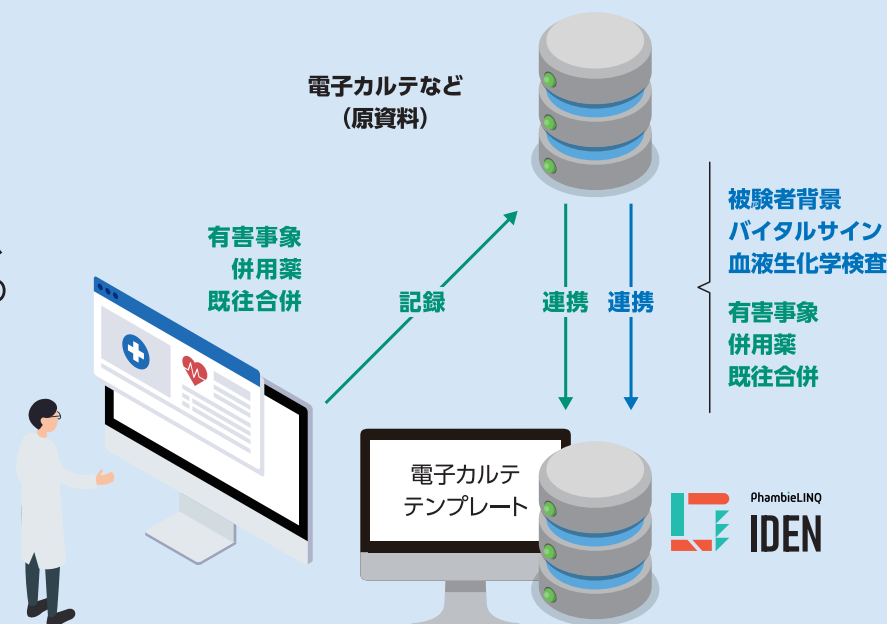
マルチベンダへの対応

PhambieLINQは、さまざまな電子カルテ、さまざまなEDCをつなぐハブとなり、業界全体の汎用的なデータ連携を実現します。



電子カルテシステムとの接続

電子カルテなどとの接続により、eSource連携時の医療機関の負担を最小限にします。



シンプルな操作

EDC連携用のデータを作成するために必要な操作は3STEPだけ。専用のクラウド環境にデータをアップロードすると、自動的に依頼者へ連携され、PhambieLINQ CDTを通じてEDCへ反映されます。

STEP1 カルテデータ参照・取込



STEP2 Visit 紐づけ



STEP3 EDC 連携データ出力・アップロード



〈CRF項目〉

- 被験者背景 (DM)
- 臨床検査 (LAB)
- バイタルサイン (VS)
- 併用薬 (CM)
- 有害事象 (AE)

主な特長

- 統一したチェックリストの作成や、そのまま印刷してのご利用、医療機関全体で共有することもできます。
- 投与前や診察時などタイムポイントを設定して、実際の業務手順に合わせて検査の順番を入れ替えたり、プロトコルに記載された注意点をチェックリストに記載することで、プロトコルの注意点を確認しながら参加者のVisit対応が可能です。
- CRCの経験を問わず同じ質で参加者に対応でき、担当CRCが急にお休みしても、代わりのCRCが同じレベルでミスなく参加者対応が可能です。